

下り松ポンプ場造成工事 安全祈願祭

■下り松ポンプ場造成工事の安全祈願祭を開催

下り松ポンプ場造成工事の安全祈願祭【主催：株式会社 渡辺建設】が、平成 26 年 9 月 1 日（月）に下り松ポンプ場建設用地で開催されました。

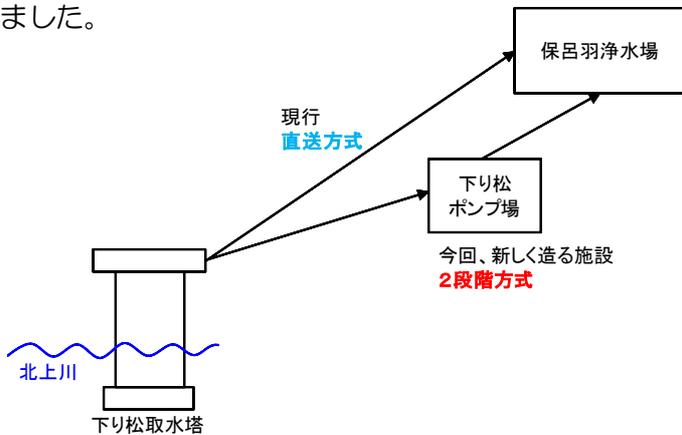
現在の下り松取水塔内のポンプ場は、北上川から約 100mの高さにある保呂羽浄水場に直接、水を送る施設です。高低差のある浄水場へ直接、水を送る「直送方式」で汲み上げるため、大きく特殊なポンプを使用しています。

平成 23 年の東日本大震災でポンプが故障し、特殊なポンプであったため復旧に時間を要し、多くの市民のみなさんにご迷惑をかけました。

登米市水道事業所ではその教訓をふまえ、更に安定的な取水をするため取水方式を見直し、現在の「直送方式」から、山の中にポンプ場を作り、川からポンプ場までとポンプ場から浄水場まで、水を 2 段階に分けて汲み上げる「2 段階ポンプ場方式」に変更し、ポンプも汎用的なポンプにすることとしました。（下の図を参考して下さい）

その工事の安全を願う祈願祭では、市長、施工業者、用地の提供者、市議会議員、行政区の代表などが参列し、各代表者がくわ入れを行なって、工事中の安全を祈願しました。

神事後には市長が「十分な現場管理と安全対策のもと、安心・安全な水を安定して供給できる施設を、一日も早く建設していただきたい」とあいさつを述べ、工事の安全と早期完成を祈念しました。



◆安全祈願祭の様子



くわ入れを行い工事の安全を祈願する市長



設計や工事など関係者 29 人が参加